



# 大森二中だより

令和4年度 大森二中の合言葉「思いやり」  
スローガン 笑顔満開 いつも心に太陽を！

令和4年度  
令和4年7月号  
大森第二中学校  
校長 成清敏治  
電話 3762-6456

## 身近な課題と地球上の課題を考えつつ

国連のユネスコ憲章の前文は有名な出だしで始まります。「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かねばならない」と。

ウクライナのクレメンテチュクという都市のショッピングセンターがミサイル攻撃に遭い、買い物客20人以上が死亡し、59人が負傷したというニュースがありました。ロシアのウクライナ軍事侵攻から4ヶ月。まだ戦争状態が続いています。仮に1人の人間が20人も殺害すれば、日本の法律で死刑は免(まぬ)がれません。戦争状態では20人が亡くなっても公には罰せられません。もしかしたら自国(ここではロシア)では、英雄になるかもしれません。戦争は感覚さえも狂わせます。買い物に行くという日常で起きた国家による殺人、1人の命の軽さをどう考えたらいいのでしょうか。皆さんも他人事ではなく、同じ地球という大地の上で起こっている悲劇と捉えて、1日も早く平和な日々がくることを願っていきましょう。

先日、あるテレビ番組を観ました。「グレタ 1人ぼっちの挑戦」という海外ドキュメンタリー番組です。グレタとは、環境活動家のグレタ・トゥーンベリさんのこと。皆さんとほぼ同年代の女性です。彼女は15歳のころから未来の環境問題について真剣に大人へ訴えかけ、世界の環境会議でもスピーチして、若者の先頭に立って運動を起こしていきました。彼女は自分自身のことをよく分析しています。アスペルガーという障害のことも公表し、自分の苦手な分野があることを自覚して、周囲に働きかけて協力を得ています。環境問題のことはたやすく覚える彼女ですが、人とのコミュニケーションは苦手。ジッと一人で考え続け、誰ともしゃべらない時間も多々あるそうです。1度こだわるとそこから抜け出せず、悶々と過ごすこともあるそうです。そんな彼女ですが、環境問題については一切の妥協はせず、大人たちが今行動を起こさないと、自分たちの将来が大変な状況の中で生きていかなければならないことをずっと訴え、若者に大きな波を起こしました。

この彼女の生き方を通して、皆さんは情熱をもって何かを変えたいと思うことはありますか、と問いたいと思います。戦争にしても環境問題にしても、目の前の事実に対して、人間は受け身になっているように思えます。生き方や考え方を変えていかないと最悪の危機が待ち構えているような予感さえします。1人の心が平和になること、ライフスタイルを少し変えること、そんなに難しいことではありません。1歩の努力を1人が意識すれば、世の中はめまぐるしく変わるでしょう。でも自分ぐらい…とと思っている人のいかに多いかが大きな課題であることは間違いありません。

ウクライナの戦争とグレタ・トゥーンベリさんの挑戦、身近な課題意識から世の中は変えられると確信します。皆さんも目の前の課題と地球上の課題を考えつつ、人類の平和に貢献できる人へと成長してください。

(7月4日 全校朝礼)

